

輸送の安全に関する令和5年度の安全投資計画

1. 車両の安全に対する投資

- ① A S V 技術（衝突軽減ブレーキ等）搭載の新型車両を既存の車両と入れ替えて導入
- ② 非対面点呼の安全向上の為、高機能アルコールチェッカーを更に導入する（今年度予算 80 万円）
- ③ 乗務員教育について、救命救急講座や交通安全講座などを事故対策機構などの外部機関に依頼して開催する。
- ④ コロナウィルス流行状況に鑑み、新車、中古車を問わず導入する車両全てにウィルスを不活性化するバス専用低濃度オゾン発生装置と感染保護シートを導入しウィルス感染防止に努める。

2. 乗務員の技量向上

運転手の運転技術の向上の為に、安全運転研究所の「バス運転者 4 日間コース」を班長・副班長を年度 2 名ずつ（最終目標 14 名）受講させ、社内に安全運転のエキスパートを養成する。

令和 5 年 1 月

（弊社作成 「安全投資計画(6カ年)[最終年度]」及びコロナ流行対応に基づく）